

主な記事	
・主食用米4年連続で生産不足	2面
・労災保険小規模農家も義務化へ	3面
・技能検定試験問題と正解	4-5面
・中古農機フェア実績	8面

第
749
号

全農機商報

昭和38年8月20日第三種郵便物認可

令和7年8月15日(金曜日)
毎月1回15日発行

発行所
全国農業機械商業協同組合連合会
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2の6
森芳ビル4階 電話03(3863)7788(代)
編集発行人 田中宏樹 FAX03(3863)7785
購読料 1ヵ月100円(送料共)
URL <http://www.zennouki.org>

第23回福島県中古農機フェア



雨にも負けず
風にも負けず
テントが飛んでも大台達成



福島県中古農機フェアが、今年も郡山駅から車で30分ほどにある大型スーパーマーケット「プラント5」駐車場で、7月17、18日の2日間にわたり開催された。開催前日の夜中にテント4棟が突風で飛ばされるアクシデントに見舞われたが、最小限の被害で済んだこともあり、今年も売上1億円を突破。これでコロナ禍での縮小開催を除き、10年連続での大台達成となった。

今年は大型農機が少なく1台当たりの単価が安かったため、成約台数は前年を上回ったものの、成約金額は1億539万円と前年をやや下回った。毎年、開場時間前から長蛇の列ができるほどの盛況ぶりだけに、大台突破を続けるには一定金額以上のタマ確保が鍵を握る。



ヤンマー史上

最大×高速
138馬力 2.10^{m/秒}刈取

※YH6135…2.10m/秒、YH7135…1.9m/秒

オートコンバインは新フェーズへ!

**最短2周目^{*}から
オートモードが使用可能に**

※ほ場の形状や刈取方法によっては、手動作業が複数回必要になる場合やオートモードがご利用いただけない場合があります。

YH6135,A
YH7135,A
(オートコンバイン)



プロモーション動画



製品情報

YH6135
YH7135



プロモーション動画



製品情報

SMARTPILOT

YH6135,A / **YH7135,A** / **YH6135** / **YH7135**

オートコンバイン 6条刈り / 138PS

オートコンバイン 7条刈り / 138PS

6条刈り / 138PS

7条刈り / 138PS



ヤンマーアグリ株式会社 www.yanmar.com

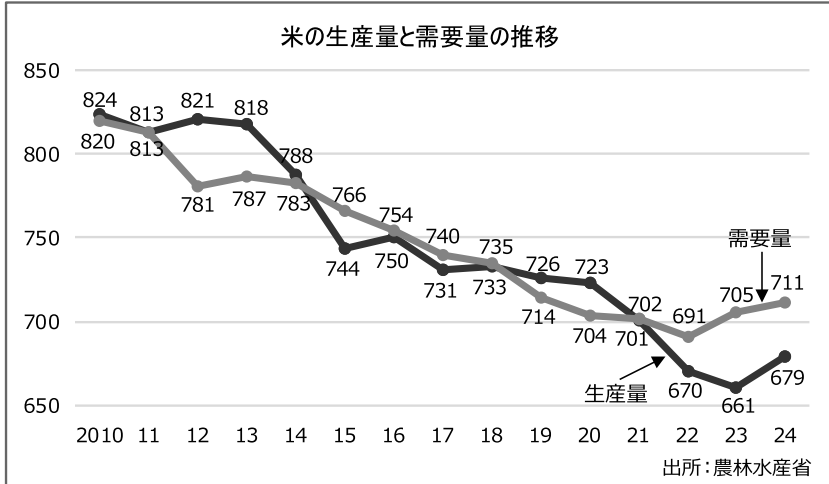
24年産米の生産量32万トン不足 農水省推計

価格高騰は生産不足の可能性 流通の日詰まり確認できず

農林水産省は7月30日、24年産主食用米等の需要量（24年7月から25年6月末）が、当初見通しの674万トンから37万トン上振れし711万トンだったとの試算を公表した。24年産米の生産量実績は679万トンだったため、実際には需要に対して生産量が32万トン不足していたことになる。昨夏以降の価格高騰は流通の日詰まりではなく、生産不足が招いた可能性が高い。

▽需要が生産を上回る 高騰の要因となったという指摘があることから、今年も現状わかっていない数値のみを公表した。 今回公表された試算結果711万トンは、元々の供給量832万トンに今年6月末までに供給された政府備蓄米36万トン（入札分31万トン、随意契約分5万トン）を加えたものから、今年6月末の民間在庫量157万トンを差し引いたもの。結果的には、備蓄米の放出分36万トンが不足を補った。

▽流通業者の在庫量は前年と変わらず／精米の歩留まり悪化もコスト不足の一因か 価格高騰については当初、流通段階での目詰まりが原因ではないかとの指摘があった。しかし、同省が食糧法



転勤の考え方

農機店が縁もゆかりもない土地で農機店をやれと言われたら、どう思うのだろうか。 「転勤をきつかけに退職を考えたことがある。割合が6割に上った。人材サービス会社のエン・ジャパンの転職サイト「エン転職」のユーザー男女2303人を対象に6月に実施した「転勤に関する実態調査」で明らかとなった。年代別の割合は、全体59%に對して、20代66%、30代67%、40代以上54%。若い人ほど、転勤への抵抗感が大きい。 転勤で退職を考える理由は「転勤してまで仕事を続けたいとは思わない」「子供の転校、転園はさせたくない」「家族との時間が大事なので、単身赴任は考えられない」など。この他、「地方であれば退職を検討する」「転居を伴わないなど、生活環境を変えずに済むのであれば転勤する」という回答もあった。 また、転勤経験が「ある」と回答した20%の人に「転勤をきつかけに退職を考えたことがあるか」と聞いたところ、実際に退職した割合は12%で、考えたことがある割合は32%だった。ただ、年代別にみると20代は25%と44%、30代では15%と46%。動きやすく転職先の選択肢が多い若い人ほど、転勤を気に退職するもしくは考えるのは当然だろう。 転勤前提の企業に就職しておいて、転勤が嫌で辞めるというのはある調査では、仕事を

25年産水田作物の作付意向 (6月末時点)			
	25年産意向	前年比	
		面積	率
飼料用米	4.92	▲4.95	▲51.2%
加工用米	4.37	▲0.65	▲12.9%
米粉用米	0.37	▲0.26	▲41.3%
新市場開拓用米	0.94	▲0.18	▲16.1%
WCS用稲	4.98	▲0.67	▲11.8%
麦	9.58	▲0.73	▲7.1%
大豆	7.58	▲0.86	▲10.2%
主食用米	136.3	10.4	8.2%

(出所：農林水産省)

25年産飼料用米 半減見通し 主食用転換でピーク時の3分の1に

農林水産省が7月18日に公表した2025年産の水田作物の作付意向調査（6月末時点）によると、飼料用米の作付面積が4・9万ヘクタール、前年産から半減する見通しであることがわかった。価格が上昇している主食用米への転換が進んだことが要因。 飼料用米については一般品種の助成単価を24年産から段階的に引き下げていることもあり、22年産の14・2万ヘクタールから減少傾向にある。飼料用米は、25年産で10・4万ヘクタールと、ピーク時の3分の1にまで減る見通し。

随契米2万9000トンキャンセル 納期遅延で 農水省 小泉農水大臣は8月5日、随意契約による政府備蓄米について、放出量の1割に当たる約2万9000トンのキャンセルが出ていることを明らかにした。物流や精米の遅れなどで備蓄米が届かない事業者が、8月中旬に販売期限を8月末までとめている。政府は備蓄米の販売期限を8月末までと

「自分や周囲が熱中症になった人」は6割 農作業と熱中症に関する実態調査 J A全青協 全国農協青年組織協議会（JA全青協）は、今年3・4月に、全国の若手青年農業従事者90人を対象に「農作業と熱中症に関する実態調査」を行った。それによると、農作業中もしくは農作業後に自分もしくは周りの人が熱中症に罹ったことがある人が6割いたことがわかった。 農作業の中でも熱中症を意識する場面は、①「草刈り作業や薬剤散布の時」、②「トラクタのエアコンが効かなくなった時」、③「個人農家やハウス内」に多かった。 米が同41%減、新市場開拓用米（輸出用米）が16%減だった。

▽熱中症に注意が必要だと感じる場面は「重労働や一人になりやすい環境」 農作業の中でも熱中症を意識する場面は、①「草刈り作業や薬剤散布の時」、②「トラクタのエアコンが効かなくなった時」、③「個人農家やハウス内」に多かった。 米が同41%減、新市場開拓用米（輸出用米）が16%減だった。

▽9月も高温予報・引き続き熱中症に注意しましょう 6月と7月の平均気温は過去最高記録を更新し、8月には群馬県伊勢崎市で国内観測史上1位の41・8℃を記録するなど、最高気温が40度に達した地点がいくつも出ている。命に関わる危険な暑さが続いているが、気象庁は、9月も歴代2位と

これら数値は、25年産水田における戦略作物等の作付意向調査（6月末時点）の結果を元に推計したもの。生産量・作付面積ともに大幅増になる見通しだが、主食用米は価格上昇を受け、今年は飼料用米や加工用米から主食用米の生産に切り替える農家が多く、38道府県が主食用米の作付面積を前年実績より増やすと回答している。

労災保険 小規模農家 も加入義務化へ

死亡事故増加を受け

厚労省有識者会議

厚生労働省の有識者会議は7月29日、従業員を雇用する農業経営体について、従業員数に関係なく労災保険への加入義務化を検討するよう提言をまとめた。法改正されれば、現在は任意である従業員4人以下の経営体も加入が義務となる。提言の背景には、農業の死亡事故が産業別で突出して多いことや、熱中症による死亡者が増加していることがある。

1947年に誕生した労働者災害補償保険（略称、労災保険）は、業務上の事由又は通勤による労働者の負傷、疾病、障害、死亡等に対して迅速かつ公正な保護をするため、必要な保険給付を行い、併せて労働者の社会復帰の促進や遺族の援護を図る制度。雇用主が保険料を全額負担し、従業員が労働災害に遭った場合、従業員は治療費や休業手当が補償される。

▽未加入の場合は雇用主が全額負担／支払い能力次第では従業員が十分な補償受けられず、労災保険は、労働者を一人でも雇用する事業主に対して原則、個人が法人かを問わず加入を義務としている。しかし、農業では現

状、従業員4人以下の経営体の加入を任意としているため、14万ともいわれる個人経営体の労働災害をカバーできない状況が続いている。未加入の経営体で労働災害が発生した場合は、雇用主が医療費などを全額負担すること

▽農業の死亡事故数は増加傾向・全産業で突出して多い
今回の提言は、死亡事故が増加傾向にあることが大きな理由だ。農業の死亡事故数は、従事者数の大幅減により数こそ減っているが、一人当たりの死亡確率は増加傾向にある。2022年の10万人当たりの死亡事故者

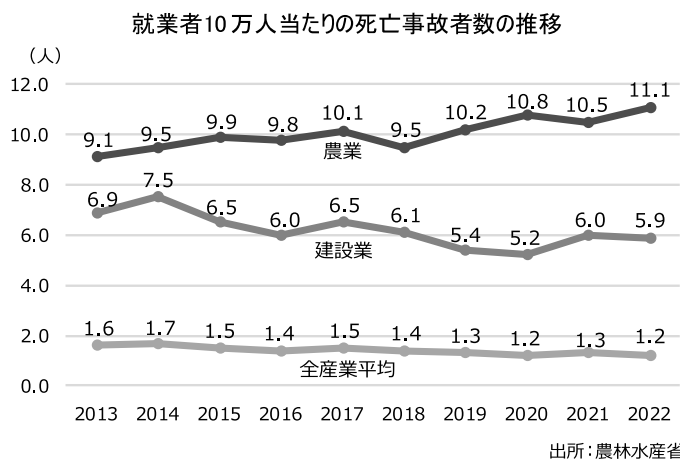
数産業別にみると、農業は11・1人。これは死亡事故が多いとされる建設業5・9人の約2倍、全産業平均1・2人の9倍に上る。また、過去10年の推移をみても、農業だけが増加傾向にある。死亡事故の8割は65歳以上だが、死傷事故は農作業経験3年以下の従事者が過半を占める。作業別では転落転倒などの「農機事故」が7割近くで、「熱中症」が1割強。一人作業になる機会が多く、また、作業環境を整えにくい小規模農家は、事故が発生する可能性

▽義務化には雇用主の負担軽減が必須
労災保険制度の見直しは、1969年の暫定任意適用事業開始以来半世紀ぶりとなるが、加入が義務化されれば、雇用主には保険金や事務手続きの負担が生じる。物価高や異常気象で収益確保が難しい小規模農家にとつて、今以上の支出増は厳しいものがある。加入義務化と併せて、雇用主の負担軽減対策の導入も求められる。

ISEKI FM series

FM468 (4条判68PS)
FM475 (4条判74.8PS)
FM575 (5条判74.8PS)

求めたものは次世代の
居住性 操作性 メンテナンス性

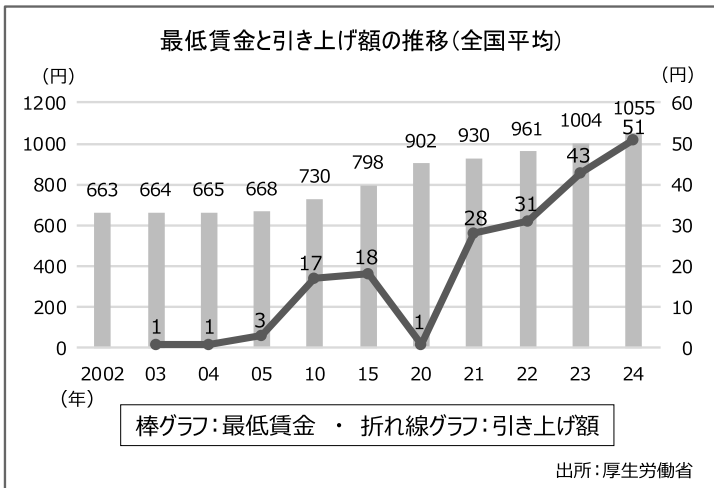


農業における公的保険への経営形態別加入要件

保険種類	法人経営体	個人経営体	
		従業員5人以上	従業員4人以下
労災保険	従業員1人から強制適用	強制適用	任意加入
雇用保険	従業員1人から強制適用	強制適用	任意加入
健康保険	強制適用	任意加入	任意加入
厚生年金保険	強制適用	任意加入	任意加入

厚労省有識者会議が
加入義務化の検討を提言

全国平均1118円／全都 道府県で1000円超え 2025年度最低賃金



2025年度の最低賃金について、厚生労働相の諮問機関である中央最低賃金審議会は8月4日、7回目の小委員会を開催し、改定

額の目安を決定した。目安通りに改定されれば、全国平均(加重平均)は引き上げ幅63円(6・0%)、最低賃金1118円となり、

上げ幅・時給ともに最低賃金を時給換算で示す02年度以降で過去最大となる。

また、全都道府県が最低賃金を目安通り63円引き上げた場合、最も低い秋田県など現在900円台の31の県を含めて、すべての都道府県の最低賃金が1000円を超えることになる。

最低賃金を巡る審議が7回に及ぶのは44年振りとなる異例の事態。労働者側は物価高が続いているとして大幅な引き上げを求めているのに対し、企業側は過度な引き上げは中小企業の経営に打撃を与えるとして慎重な姿勢を示していること

で、結論が出ない状況が続いていた。

今後は都道府県ごとに開かれる地方審議会です新たな最低賃金を決定し、10月以降、順次適用される。

食と農と大地のソリューションカンパニー ISEKI



100 ISEKI ANNIVERSARY SINCE 1926

ISEKI 井関農機株式会社

購買情報

ケイエイチブイ

ケイエイチブイ
クロスラムカバーキャンペーン

《開催期間》2025年8月21日～10月20日ご注文分
通常価格の7～8%引き



■対象商品

品名	サイズ
コンバインカバー	H型・2条S型・2条L型・3条S型・3条M型 3/4条型・4条L型・5/6条S型・5/6条L型
乗用田植機カバー	4条型・5条型・6条型・8条型

- ◇ 1枚から出荷可能。
但し、梱包未滿は送料1,800円(税抜)
- ◇ コンバインカバーはオレンジかブルーを選択
(ブルーは受注生産)
- ◇ 乗用田植機カバーの色はナチュラルのみ

ヤマト自動車

ヤマト

今月の推し!

2025 8月

3つのモード切替

ドライバー ↔ ドリル ↔ ハンマー

耐久性の高いブラシレスモーター
高速・低速スピード切替付き

10.8V リチウムイオンバッテリー
バッテリー2個付き

付属品

専用充電器、バッテリー×2個、LEDライト、高トルクスイッチ、SHIMANOオリジナルキャンパスバッグ

チェック能力: 0.8~10mm
回転速度: (高速) 0~1,800min⁻¹
(低速) 0~450min⁻¹
リチウムイオンバッテリー: 10.8V・2.0Ah
充電時間: 約90分(満充電)
サイズ: 長さ153×幅63×高さ189mm
質量: 1.05kg

①バッテリー含む

1~2段階トルク調整ダイヤル

モードセレクトダイヤル

デュアルLEDライト

18T

6.35mm

147mm

45mm

SI-500D

コードレスドライバードリル

denDen

スプレー式コンプレッサーオイル

Oリングやジョイント部へ塗布することで、
潤滑性・密着性が高まり腐食防止

使用例

PAG

ベルト駆動コンプレッサー専用

ND-OIL8 兼用
ND-OIL12

防錆・潤滑添加剤入り
CO-PAG40S-YF / CO-POE40S-YF
スプレー式コンプレッサーオイル

容量: 40ml (LPG: 50ml)

POE

電動コンプレッサー専用

ND-OIL11 兼用
ND-OIL14

denDen

エアコンシステム性能 復活剤

冷房能力の復活

コンデンサー・エバポレーターの熱交換効率の改善

コンプレッサーの延命効果と騒音の低減

液剤を注入するには
専用ジョイントが必要です。別売品

低圧ケミカルジョイント

CC-CF6S

内容量: 6.6ml (5.7g)

クールフラッシュセット

CP-4L2P

CP-4L2P-R

CP-4L2P-R

過去シリーズ最大

2.0N・mから 3.0N・m にパワーアップ

VESSEL

早締めは電動モーターで、
本締めは手動のドライバー感覚で作業可能

220USBC 電ドラボールII 本体のみ

日本製 落下防止コード 取付穴付き 高輝度LED

充電ランプ

スライドスイッチ
操作しやすいスイッチ形状

147mm

45mm

220USBC-1 ビット1本付属

220USBC-5 ビット5本付属

バッテリー

Li-ion 3.7V 800mAh

入力(MAX) 5V 1A

無負荷回転数 280rpm

最大トルク(電動) 3.0N・m

最大トルク(手動) 12N・m

充電時間 約90分

連続使用時間 約40分(満充電時)

充電方式 USB Type-C

質量(本体のみ) 170g

洗車後の水滴飛ばしや埃飛ばしなどに最適

最大風速 60m/s (ブーストモード)

従来品より風量と使用時間がアップ

USB 充電式小型ブロワー

ストラップホール付きで
高所作業にも対応

GENTOS

HYT-SL

小型ブロワー 疾風

洗車時などの水滴に

風量インジケータ搭載

風力	弱	中	強	ブースト*最大
回転数	30,000rpm	50,000rpm	70,000rpm	120,000rpm
風速	25m/s	35m/s	43m/s	60m/s
使用可能時間	120分	60分	30分	10分
使用電池	リチウムイオン充電電池 7.4V 2,500mAh 18.5Wh内蔵			
充電時間	2時間			
電池寿命	充放電 約500回			
本体サイズ	W43×D81×H138mm			
本体質量	275g			
付属品	ブロワーヘッド、シリコンノズル、ストラップ、USB Type-Cケーブル			

2025年中古農機フェア実績(兵庫・広島・福島)

2025年実績

	兵庫県(7/11-12開催)			広島県(7/11開催)			福島県(7/17-18開催)		
	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率
トラクタ	44	31	70.5%	12	7	58.3%	37	29	78.4%
コンバイン	26	18	69.2%	21	10	47.6%	14	13	92.9%
田植機	42	28	66.7%	8	3	37.5%	24	14	58.3%
管理機・作業機等	119	57	47.9%	16	12	75.0%	163	112	68.7%
ハーベスタ・バインダ	0	0	－	4	3	75.0%	0	0	－
運搬車	0	0	－	6	2	33.3%	14	6	42.9%
その他(建機等)	127	68	53.5%	27	13	48.1%	140	90	64.3%
合計	358	202	56.4%	94	50	53.2%	392	264	67.3%

出展金額/成約金額/前年比	¥164,254,500	¥93,264,020	105.1%	¥68,480,000	¥30,150,000	89.3%	¥204,334,356	¥105,391,335	97.4%
---------------	--------------	-------------	--------	-------------	-------------	-------	--------------	--------------	-------

過去 2 年間の実績

		兵庫県			広島県			福島県		
		出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率	出展台数	成約台数	成約率
トラクタ	2024	49	32	65.3%	28	9	32.1%	41	33	77.1%
	2023	48	32	66.7%	20	8	40.0%	47	37	77.1%
コンバイン	2024	45	22	48.9%	23	10	43.5%	23	12	42.1%
	2023	41	25	61.0%	29	10	34.5%	21	13	42.1%
田植機	2024	51	35	68.6%	12	7	58.3%	33	16	44.2%
	2023	56	25	44.6%	20	7	35.0%	26	21	44.2%
管理機・作業機等	2024	10	54	52.9%	13	9	69.2%	56	45	88.9%
	2023	95	58	61.1%	18	7	38.9%	51	29	88.9%
ハーベスタ バインダ	2024	0	0	－	2	2	100.0%	6	1	66.7%
	2023	0	0	－	7	5	71.4%	6	2	66.7%
運搬車	2024	0	0	－	1	1	100.0%	5	5	50.0%
	2023	0		－	2	2	100.0%	6	4	50.0%
その他 (建設機械等)	2024	111	42	37.8%	27	14	51.9%	203	124	68.3%
	2023	108	50	46.3%	27	12	44.4%	222	127	68.3%
合計	2024	358	185	51.7%	106	52	49.1%	367	236	64.3%
	2023	348	190	54.6%	123	51	41.5%	379	233	61.5%

成約金額・前回比	2024	¥88,712,300	103.2%	¥33,780,000	123.9%	¥108,256,020	82.1%
	2023	¥85,940,820	155.1%	¥27,270,000	92.1%	¥131,902,800	130.3%



いつでもどこからでもご参加いただけるバーチャル展示会

クボタの「農フェス!」開催中

開催期間 2025年 6月2日(月)～9月30日(火)

今まで知らなかった商品に出会うことができる「農フェス! 2025 夏秋」。おすすめの商品情報をはじめ、期間限定のグッズショップやプレゼントキャンペーンなど気になるコンテンツが盛りだくさんです。この機会にぜひお楽しみください!

新商品コーナー

クボタの2025年新商品を一挙ご紹介!

グッズショップ

期間限定グッズショップがオープン!

作物別商品コーナー

栽培する作物にあったおすすめの商品に出会える!

GSコーナー

クボタのGSシリーズで「まっすぐ」。プレゼントキャンペーンも実施中!

トピックス

クボタの気になる商品の取材記事や新たな取り組みなどをご紹介します!

詳しくはこちらのQRコードから



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

主催：株式会社クボタ